

市議会議員

おのざわ康弘の

会派活動報告

ひげ通信



2014

No. 38,39,40

発行日 14-04(やまぶき会 小野澤康弘)

おのざわ康弘ホームページ
TEL049(232)5789 TEL049(231)4850 <http://onozawayasuhiro.com/>

定例市議会報告（3月議会）



26年度川越市当所予算に関する平成

3月定例市議会が平成26年2月25日(火)に開会、3月20日(木)に閉会となりました。おのざわ康弘の「ひげ通信」も久しくお休みをさせていただいておりました。一昨年の6月議会より、川越市市制施行90周年という本市にとつても輝かしい年に第78代の川越市議会議長として議員の皆様や市民の皆様に支えられて議会運営が努められたことに万感の思いに至り、改めて心より深く感謝申し上げます。

た内容ですが、平成26年度予算(一般会計)では、歳入においては市税(個人市民税、法人市民税、固定資産税、固有資産等所在市町村交付金、軽自動車税、市たばこ税、事業所税、都市計画税)は、昨年と比較して11億9000万円の増収見込みがあり、全体歳入では昨年に比べ98億9000万円の増収であります。又、市民の皆様にとつて注目するところである本市の市債(借入)であります。川越駅西口の地域振興ふれあい拠点整備の大型事業債(71億2300万円)などにより、昨年に比べ約52億8500万円多い、約151億7000万円に増額を行った。一般会計全体の歳入予算としては1120億8000万円という大型予算に膨らみました。

歳出においては、義務的経費である扶助費や繰出金が増加するなど大変厳しい財政状況であります。政策財政部、財政課の予算編成方針をうかがうと、本市の重点施策として上げている「未来につなぐひとづくり」「活力と魅力あふれるまちづくり」「快適で安心できるくらしづくり」の推進を図るとともに市長の行っているタウンミーティング等による市民からの意見、要望や重要課題に対応した施策や事業に取

組む為の予算を組み、住むことに誇りを持ち、住んで良かったと思えるまち川越の実現を目指すとの事であります。又昨年、国により決定した東京オリンピック・パラリンピックにおいて本市、霞ヶ関地区にある霞ヶ関カンツリー倶楽部を予定とするオリンピックゴルフ競技などに伴い、積極的な予算に取組んだ事に対しては、公派やまぶき会としても大変評価するものであり、私もこの大型予算については賛成の意思を投じました。又一方ではこの予算を組むにあたり、限られた財源の重点的かつ効果的な配分を行うとともに平成26年3月末時点での財政調整基金(預金)約49億6000万円から23億5000万円の繰入れ(引出し)を行い活用する事についても一定の評価をいたします。

一方、今後の財政見通しという点から見た場合、歳入(収入)については今後の景気回復状況にもよりますが、法人税などは横ばいとの見方もあり、大幅な一般財源の増加の見込みはあまり期待できないような気がいたします。又、歳出(支出)については義務的経費などの一部の人員費については職員の退職手当のピークは過ぎたと市からの報告もあり、これも横ばい傾向で推移する

と思われます。しかしながら今後更に続くと思われる少子高齢化の影響による介護保険事業への一般財源からの特別会計への繰出金の増加、生活保護者等の増加予測など、扶助費全体の増加はまぬがれないと考えます。又、大規模事業整備による市債(借入)に対する公債

(返済)のみこみが平成28年以降に増加に転じるなど、今後まだまだ厳しい見通しと言わざるを得ない状況です。また本市の財政構造の硬直化を判断する指標も現在はまだ90%台であり、本来の目標値である經常収支比率80%台定着に向け、財源の確保や消費的経費の縮減、特別会計に含まれる事業の独立採算化などによる自主性の促進を進めるように期待するものがあります。

(参考)平成25年度川越市中期財政計画
 ※参考

平成26年度川越市一般会計、歳入歳出を、1世帯当たりの借入、返済、預金等に換算すると…

市債(借入)約151億円なので年間の借金が約10万円。累計(借入)約964億円なので借金の残債が約65万円。公債(返済)約98億円なので年間の借金返済に約6万6千円。財政調整基金(預金)約26億円なので貯金が約1万7千円と

なります。

(平成25年度末49億6000万円を26年度予算へ23億5000万円繰入れ、平成26年度末約26億円見込みとした場合)
 (平成26年3月1日現在の川越市の14万8159世帯で換算)

主な議決案件

三月定例議会の主な議案

(2月25日～3月20日)

主な議決案件

請願第一号 (継続審査)

請願第二号 (採択)

条例の制定について 三件

条例の全部改正について 二件

条例の一部改正について 十九件

(反対討論、異議有り) (原案可決)

条例の廃止について 一件

包括外部監査契約について 一件

訴えの提起について 二件

道路線の認定について 一件

平成二十五年度補正予算 四件

(一部異議有り) (原案可決)

平成二十六年当所予算 十件

(一部異議有り) (原案可決)

同意第一号

(固定資産評価委員の専任)一件

(同意)

議員提出議案

一件 (原案可決)

意見書第一号

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充 (原案可決)

意見書第二号

平成の豪雪被害に対する被災者救済 (原案可決)

詳しくは議会だよりを参考に

議案に対する会派の賛否

へやまぶき会

・通常提出議案(全議案賛成)

・請願第一号

民法改正による個人保証の原則的廃止(継続審査)

・請願第二号(賛成)

意見書第一号

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充(賛成)

・同意一号

固定資産評価審査委員会委員の専任(同意)

・意見書第二号

平成の豪雪被害(2月14日～2月15日)に対する被災者救済を求め

る意見書(賛成)

当所予算の主な新規・主要事業

〈新規事業〉 (一部抜粋)

・東京オリリンピックにおける霞ヶ関

カンツリー倶楽部のゴルフ競技開催

に伴う大会準備、及び啓蒙活動

・市民と行政の協働を推進するた

めの市民センター設置

・平成26年度中の防犯灯のLED化

・病児、早朝、夜間の育児希望者、

育児援助者の組織化

・子育て世帯臨時特例給付金

・生活困窮者への包括的な自立、就

労支援体制構築

・新斎場建設

・新規就農者への研修、情報交換、

農作物生産資材、種苗購入補助

・川越まつり会館駐車場横に観光

客向けの無料休憩施設整備

・南古谷小学校の教室増築
 ・水道水の安定供給のため、基幹水道管の耐震化、配水管の更新
 〈主要事業〉 (一部抜粋)
 ・市公式ホームページの災害、スマートフォン、オリリンピック対応
 ・公共施設の整備更新の基本方針策定のための調査・研究
 ・市街地交通量削減のため、郊外駐車場への誘導と自転車の利用促進に向けた自転車シェアリング事業
 ・小中学校の通学路安全点検と危険箇所への区画線や注意看板設置
 ・特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人への整備費一部補助
 ・中学3年生以下の子どもへの医療費一部支給
 ・待機児童対策として民間保育所への整備費一部補助
 ・農地利用集積や地域農業のあり方を検討する人・農地プラン策定

- 旧川越織物市場の保存・活用のため、修復調査と安全対策整備
- 本川越西口駅前広場及びアクセス道路整備、中央通り線の整備、沿道街区土地区画整理事業
- 余熱利用施設を含む「なぐわし公園」整備
- 積極的な生徒指導を推進のため、市費による教員（オールマイティーチャージャー）を配置

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業

- 活性化推進事業 19、829千円
- 市公式ページへのオリンピック特設ページ開設 4、242千円

- 競技会場近接の西清掃センター跡地解体基本計画 19、980千円
- 競技会場と圏央道を結ぶ0074号線を始めとするアクセス道路、橋梁整備、渋滞緩和のための交差点改良 75、700千円

私の議会質問

今回の報告では平成25年9月議会、平成26年3月議会の中での一般質問と通告による内容を合わせてご報告させていただきます。なお、平成25年12月議会については一般質問の通告をしたものの、23人の通告者が質問する機会が

行政の情報は市民の共有財産である

無くなりましたので、ご報告とさせていただきます。



私は以前より都市計画マスタープランについて何度となく本会議で質問を行っており、また、地域の関係では霞ヶ関駅を中心としたまちづくりについて課題を整理し、市側への質問を投げかけております。霞ヶ関駅中心とは、川越市総合計画の位置づけとして地域核に指定されております。他には南古谷駅周辺、南大塚駅周辺、新河岸駅周辺、西川越駅周辺と合計5ヶ所の駅を中心として将来都市構造としてえがかれており、特にこの霞ヶ関駅周辺はここ20年の期間、川越市が約380億円にもなる財

政投資を行っております。（霞ヶ関駅北口、南口整備、資源化センター整備、なぐわし市民センター整備、史跡川越館跡整備（継続中）、なぐわし公園整備（継続中）、霞ヶ関北公民館（計画中） 県道川

越越生線整備（埼玉県、継続中））このような観点から、住民と共にまちづくりについて基本的な事から見直し、本来の地域核としてふさわしい霞ヶ関駅周辺の将来像をつくり上げるべきと考え、議会で取り上げさせていただいております。また、一方では市全体を考えた時の環境の問題があります。私は特に自然環境と生物多様性について考えております。地球温暖化現象による人間の生活環境や河川、里山の環境と生物に関連した事は今後私達に課せられた大きな課題と受け止めております。そのような視点からの質問もさせていただきました。又、災害に対しては東日本大震災から3年が過ぎ、私達市民も災害に対しては大きく意識改革されたと思えます。しかし、いざという時の行政（公助）のあり方や災害に対し各機関や団体、企業、ボランティア等の支援協力体制についても一度見直し、確認

を行う意味で一般質問として取上げました。

質問骨子

（霞ヶ関駅周辺のまちづくりと諸課題について）

- ※霞ヶ関駅周辺の現状と川越市総合計画、都市マス、地域計画の観点から
- (1) 霞ヶ関駅周辺の状況についての確認
- 南口駅前ロータリーの整備について
- 北口駅前広場の整備について
- 駅の乗降人数の状況について
- (2) 霞ヶ関駅周辺における公共投資の財政負担についての確認
- 南口ロータリーの整備に掛かった事業費について
- 北口駅前広場の整備に掛かった事業費について
- その他公共施設の整備に掛かった事業費について
- (3) 県道川越越生線について
- 現在の県道整備に至る経緯について
- 整備の進捗状況と完成予定について
- 連続した用地取得済みの区間の歩行者が通行出来るような先行整備について
- 電線の地中化について
- 今後の県道川越越生線の全体整備の方向性と財政規模について
- 一部施工となつてしまった歩道のポトルネックの問題について
- (4) 霞ヶ関駅周辺の駐輪場対策について
- 北口駅前の土曜日曜の放置自転車対策について
- 県道川越越生線（第一期整備）と自転車放置禁止区域について
- (5) 地域核に相応しい街とはどのように市は考えているか
- (6) 霞ヶ関駅周辺が地域核として整備が実現されるための課題はどのように認識しているか

へ霞ヶ関駅周辺のまちづくりパートナー
 ※霞ヶ関駅周辺のまちづくり、前回一般質問を受けてパートナーは歴史、文化の観点から

(1)まず、歴史的風致の定義について改めて確認をしておきたい
 (2)一般的にどのような区域が重点区域となるのか確認したい

(3)次に川越市では歴史的風致維持向上計画の重点区域はどのように定められたか。また、河越館跡周辺については重点区域の検討がなされたのか伺いたい

(4)河越館跡周辺地区には地域まちづくりの核となる歴史や文化、観光などの資源はどのようなものがあるか、文化財以外にも含めて伺いたい（観光・行事等も含めて）

(5)「歴史まちづくり法」に定義される「固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動」「歴史上価値の高い建造物」とはどのようなものか確認したい

(6)「歴史的風致維持向上計画」の検討段階で、河越館跡周辺も重点区域の候補に上がったと伺ったが、今後重点区域として指定できる要素はあるのか伺いたい

(7)「地区街づくり推進条例」における協議会としての認定を受けるための住民団体が発足するための動機としては、どのようなものが想定されるか伺いたい

(8)霞ヶ関駅北口から河越館跡にかけて歴史的風致の維持及び向上を図りながら整備を進めることは、観光企画にも関連付けられ、ひいては川越市内の回遊性を高めることになるかと考えるが、如何か？

(9)今後、歴史的風致維持向上計画の重点地区として、河越館跡周辺への拡大を検討できないか。要望の意味を

含め、伺いたい
 へ自然環境と生物多様性について

市内における野生動物の生息、生育状況を市はどの程度把握しているか

市内における野生動物の生息空間として農地や樹林地等の状況はどうなっているか

市が実施している野生動物に関連した事務はどのようなものがあるか
 公共工事を実施する際、自然環境への配慮はどのように行われているか
 本市は生物多様性の保全の必要性についてどのよう認識しているか

市民や市民団体からの情報収集によるデータベースの作成とそれを集約したレッドデータブックの作成についてはどう考えているのか

レッドデータブック作成を始めとした生物多様性の保全に関する施策を推進するために必要なものは何と考えているのか

別の視点からまちづくりの中に環境の視点をどのようにバランス良く組み合わせかという問題があるが、これについてはどのように考えるか



野生の狐の様子 (鯨井)
 撮影：小野澤康弘 平成 25 年 7 月
 ※犬ではありません！

平成34年市制百周年に向けて川越市の発展と自然環境と生物多様性の

保全について今後どのような考え方でまちづくりに臨まれるのか、市長の考え方を伺いたい
 へ災害時における応援協力体制について

土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定について、概要を伺いたい。また指定区域内に市所有地はあるのか合わせて伺いたい

市所有地について何らかのハード的な対策が必要ではないか。市の考えを伺いたい
 防災減災のために危機管理監はどのような役割を担うのか

川越市が締結している災害時における協定の概要と件数について

東日本大震災以降に締結した災害時における協定の概要と件数について

災害等における協定の支援内容や相手先の選定に関する基準について

中核市ではどのような災害時等における協定を結んでいるのか

締結以降、災害時に備え協定先とどんな活動を行っているのか

協定先との連絡体制や通信手段は確立されているのか

他の中核市と比較して本市で足りない災害時における協定としてどのようなものがあるのか伺いたい

災害に備え今後の市の災害時等における協定に関する考え方について

川越市政の
ココに注目!

文化庁が（川越氷川祭を含む）山車祭り 32 件を世界無形文化遺産の候補としてユネスコへ一括提案と発表！

平成26年川越小江戸マラソン
 公認へ！

ハーフ（種目）が公益財団法人日本陸上競技連盟による公認コースとなります！
 平成26年 11月30日（日）予定



地域要望
 笠幡芳地戸地区、市道0078号線（生活道路整備）笠幡協栄西部地区市道8051号線（霞ヶ関西小、霞ヶ関西高、通学路対策）両要望に對して平成26年引き続き整備等が推進する予定です。

やまぶき会 小野澤康弘議員
 公明党 桐野 忠議員

歴史的地区環境整備街路事業
 喜多院門前通り線 引込管路整備工事
 本川越駅前通り線 道路改築工事200m

へ豪雪被害について
 今年の2月の雪は今までに無く、災害とも言われんばかりの量の積雪に各住宅や道路の除雪に苦慮いたしました。特に農業による被害と共に専用住宅ではカーポートの崩壊などによる事故が多発しました。今後は行政側や自治会関係者と協議し防災と関連した検討について働きかけていきたいと思います。